

健康経営

環境経営への取り組み

- 基本方針 -

迫リコーはリコーグループの生産拠点として「安全は全てに優先する」という考えのもと、当社で働く全ての従業員が健康で、安心して働きやすい職場環境を実現することを優先課題の一つと強く認識し、全員参加で労働安全衛生活動に取り組んでいます。

RICOH

『労働安全衛生方針』

—安全は全てに優先する—

迫リコーは、情報機器関連メーカーとして、その事業活動全体において「安全は全てに優先する」という考えのもと、当社で働く全ての者が健康で、安心して働きやすい職場環境を実現することを優先課題の一つと強く認識し、全員参加で労働安全衛生活動に取り組めます。

1. リコーグループ安全衛生マネジメントシステム（RG-OSHMS）を基本とした労働安全衛生活動に取り組み、労働災害の危険の芽（リスク）を顕在化し、摘み取る活動を継続的に実施します。
2. リコーグループ安全衛生マネジメントシステム（RG-OSHMS）の適切性・妥当性・有効性を維持し、さらにその水準の向上を図るため、定期的に又は必要な都度見直します。
3. 労働安全衛生関連法令・条例・並びに社内にて定めた規定類を遵守します。
4. 全従業員協力のもと、無災害の継続と心と体の健康促進活動を展開し、全ての従業員が安全で、安心して働きやすい職場環境の実現を目指します。
5. 全ての従業員に対し、労働安全衛生意識の高揚を図るため、以下の事項を実施します。
 - 1 労働安全衛生方針を周知します。
 - 2 労働安全衛生に必要な教育・訓練を実施します。
 - 3 労働安全衛生活動の重要事項は社内掲示板などにより周知します。

迫リコー 副

2022年1月1日

代表取締役社長

村上 宏幸

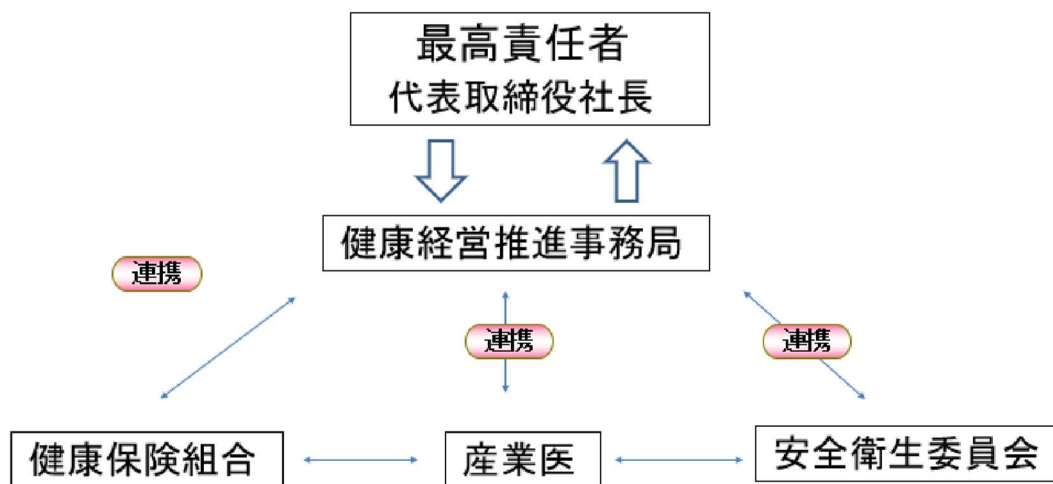
この方針は、社内外に公表します。（定期見直しにより内容が変更される場合があります）

「健康経営宣言」

- 社員一人ひとりの心身の健康を大切に、生き生きと働けるよう支援します
- 社員一人ひとりが主体的に健康保持・健康増進に取り組めるよう支援します
- 従業員が安全・安心に働ける職場環境づくりに努めます

迫りコー株式会社
代表取締役社長 村上 宏幸

【健康支援活動推進体制】



【健康経営戦略マップ】

